

会議の実施日時	令和6年9月10日（火）19:00~20:00（Web会議）
（1）広島県医療審議会保健医療計画部会（令和6年8月29日開催）の概要について	
資料1及び資料2により、事務局から説明 (1) 各圏域における病床整備に関する取扱いについて (2) 令和5年度病床機能報告（確定値）について 〔質疑等〕 なし	
（2）福山市民病院経営強化プランの改定について	
資料3により、福山市民病院から説明 ・ 福山市民病院と笠岡市立市民病院、井原市民病院との間で産科セミオープンシステムや地域医療連携を進めていく。 ・ 8月22日に福山市と笠岡市、福山市と井原市で、地域医療連携に関する覚書を締結した。福山市民病院は、医師の派遣、看護職員等の派遣、遠隔診療等の支援を行っていく。 ・ 診療支援の具体については両院間で合意できたものから、順次、取組を開始していく予定としている。 〔結果〕 反対意見はなく合意を得た。 〔質疑等〕 ・ 経営強化プランでは2027年度の分娩件数を400件まで増やす計画となっているが、周産期医療強化に向けたロードマップでは30床のままとなっている。30床ではキャパシティが少し難しいのではないかと。 (福山市民病院) 産婦人科病床が30床で回らないということがあれば、500床の中で病床再編ということを考える必要があると思っている。患者の受療行動の予測が難しいため30床としている。 ・ 経営強化プランで高度急性期458床となっているが、厚生労働省の井診計では、高度急性期の病床は、診療密度が高い医療を提供する病床ということで、ICUとかHCUが対象になっていると思うが、大半の病床が高度急性期ということは、それだけの看護配置をした病床がこれだけあるということかと。 (福山市民病院) 広島県の定量的基準（圏域版）の手術総数や化学療法等の件数等による基準より算出しており、NICUや集中治療室とか救命救急センター（のような看護配置をした病床）が458床あるということではない。	
（3）医療法人社団健信会と社会医療法人社団沼南会の合併について	
資料4により、社会医療法人社団沼南会から説明し、反対意見はなく合意を得た。 ・ 医療法人社団健信会と社会医療法人社団沼南会を合併する。合併後は、医療法人社団健信会（木下メディカルクリニック）の休床中の病床を再開させる。病床治療病床へ転換する。 ・ 病床転換及び病床の再開は来年の9月としているが、人員確保の問題等があり、合併後にスケジュールを改めて組み直すことになると思う。 〔結果〕 反対意見はなく合意を得た。 〔質疑等〕 なし	
（4）その他	
福山市民病院から説明 ・ 本年6月の診療報酬改定で、いわゆる下り搬送、入院治療の機能分化や受入体制の確保のために、高次の医療機関からの転院搬送を進める必要性が考慮されて救急患者専用搬送料が新設された。施設基準として、メディカルコントロール協議会等で協議して候補となる医療機関リストを作成することになっている。 ・ このことに取り組んだ場合に、転院搬送を受けていただけるか、あるいは、どのような疾患であったら受けただけかというようなことを、医療機関の先生方にお尋ねしたいということも考えているので、その際はいかがでしょうかご考慮いただきたい。 〔質疑等〕 福山医療センターも病床利用率が86、87%で病床満床状態が続いている。当院は、空床確保病院であるが、1次とか1.5次のような患者が入院になってしまうこともあり、そういう患者を下り搬送で受けただけならば大変ありがたいため、この地区でこの下り搬送のシステムを進めていただければと思う。	